

計測分科会誌 Vol.6, No.1, 1998

○巻頭言

「計測の役割」

京都医療技術短期大学 大釜 昇

○第 11 回計測分科会

日時：平成 10 年 4 月 8 日（水） 14：30～17：00

場所：ポートピアホテル 第 6 会場（布引・北野：B1F）

・特別講演

「放射光と臨床診断機器」

国立循環器病センター研究所 宇山 親雄

・討論会 テーマ：「骨塩定量分析装置における線量測定法の現状と問題点」

座長：滋賀医科大学附属病院 増田 一孝

1. 被検者の被ばく線量評価法について

名古屋大学医学部保健学科 成田 憲彦

2. DEXA 装置における患者被曝線量測定の実状と問題

山梨医科大学附属病院 吉沢 和弥

3. DEXA 装置の被曝線量測定の実状

アロカ株式会社 第三技術部 田部井 俊明

○第 10 回計測分科会 討論会 抄録

○トピックス「マンモグラフィによる線量評価」

—個人モニタ検出素子による乳腺線量の測定— (株)テクニカルサポートシステム 松本 進

○H9 年度事業報告

○H10 年度事業計画（案）

○文献紹介

○計測分科会会員名簿

○編集後記